

働くよさや苦勞を体感し、 将来への夢を描く職場体験

札幌市立美香保小学校

住所：札幌市東区北18条東6丁目1-10

児童（生徒数）：467人



私たちの学校では、平成22年度より6年生による職場体験を行っている。約20時間の学習活動を総合的な学習の時間に位置づけ、「地域・まち」という領域の中で実施している。東区の中でも、比較的中心街に近い校区であることから、校区内には幼保中、高校、大学などと、文教施設がたいへん多い地域である。また、幹線道路側には商業施設も多く点在していることから、それら地域施設と連携し、有効に活用しながら、学習活動を展開している。

推進のポイント

〔地域を知る〕

職場体験を進めていく上で、不可欠なのが、地域との連携。恵まれた文教や福祉関連の施設だけでなく、小売りや飲食店、自動車関連の企業など、できるだけ多くの領域の職場の中から選択し、体験できるように、各施設の協力を得て活動している。子どもたちが、興味や関心をもって地域の職業にふれる第一歩となる。

〔計画する〕

・訪問先、学校側共に日程にゆとりをもって活動できるように、概ね以下のように進めている。

- ①7月⇒前年度訪問した店舗、新たに展開したい領域の施設に連絡を取り、体験先を確定。
- ②8月⇒学習のオリエンテーション。
- ③9月⇒訪問先と詳細な打合せ。「職場体験」本番。
- ④10月⇒学習のまとめと発信、訪問先への礼状（学校と児童から）。

〔校内体制を整える〕

- ・一部の職員に、大きな負担がかからないように、担任外や6年担任が分担しながら推進している。
- 担任外⇒総合的な学習の時間での位置づけ、ねらい等の設定。施設への事前挨拶、大まかな調整。
- 担任⇒相手先との詳細な打ち合わせ。学習活動の具体的な推進。
- 保護者ボランティア⇒移動や引率、記録等の補助

〔評価する〕

- 下記の各項目に沿って評価を行っている。
- ねらい⇒「地域で働く人々について、間近で見たり体験したりすることで、働く大切さを知る」
 - 評価方法⇒活動観察（事前の調査活動、訪問時の活動、まとめの発表等）作品分析（学習カード、体験報告書、意識の変容の分析等）

〔次年度につなぐ〕

- ・実践を継続する上で大切な視点は、下記の三点。
- 相手側の視点に立ったゆとりある計画、交渉、実践。
- 各年度の実践の記録化～活動の構成、学習の足跡、活動の画像、成果と課題等～（次年度への視覚化！）
- 子ども自身が、体験を通して生き生きと学習活動できるよう、学習の目的や意義を理解すること。
- ・体験後の充実した表情の子どもたちを見て、体験先の方々の多くが、次のような言葉をかけてくれる。「来年も、お待ちしておりますよ！」

具体的な取組

☆7～8月
⇒事前準備、体験先との交渉等を開始！！

自分のなりたい職業は？

- ・理由などを記入し、発表し合う。

どんな職業があるのかな？

- ・将来の自分の夢について考える
- ・夢の職業について調べる

実際に「働く」ことを体験してみよう

- ・体験先はどんなところ？
→どんな仕事をしているかな？
- ・事前準備…行先決定、質問事項、活動の確認、あいさつ等練習
- ・どのような仕事をしているのだろう
…ゲストティーチャーとの交流等

実習に行こう！！

- ・何を目的に行くかを明確に！
- ・あいさつ、自己紹介などもしっかりと！！



報告会に向けてまとめをしよう！！

- ・土曜学校公開日に、6年生同士で交流。保護者や地域の方にも発表をする準備。

報告会をしよう！！（土曜学校公開日に）

- ・各児童が、画用紙にまとめて対面式で発表。

○発表する主な項目

- ①体験先の紹介
- ②体験の様子
- ③体験前と体験後の自分の変化
- ④今後、どう生かしていくか
- ⑤「働く」とはどういうことか、一言で表す



「職業体験」の学習を振り返って

- ・お世話になった方に、お礼状を書く。
- ・報告会も含めた、学習全般を通したまとめ。

☆10月下旬までに
⇒礼状送付と挨拶、記録化等、事後業務完了！